



オリーブ通信

子どもたちをわたしのところに来させなさい。

マルコによる福音書10章14節

神愛保育園

5月をむかえて

進級、入園から早くも1か月が経ちました。暦の上ではもう初夏(立夏)を迎えます。色とりどりの花、ダンゴ虫、心地よいそよ風、子どもたちにとって戸外遊びが満喫できる季節です。

この季節の気持ち良い風の吹く中で、大人とともにお散歩や屋外へ出る事を楽しむ姿がみられます。一日一日の生活が、日増しに保育者との信頼関係を築き始め、落ち着きをもって「安心できる場」となってきてることをうれしく感じます。

特につくし組では、はじめて保護者の方から離れ新しい環境の中で、自分の思いをぶつけているように聴こえた泣き声も、今では「おなかがすいたよ」「ねむたいよ」と保育者に訴えている泣き声に変わってきています。自分がいつも抱っこされたり、遊んでくれる保育者との関係も築かれ始めています。まだ見慣れていない保育者を見ると、すでに担任の保育者を求めている姿があります。身近な人や新しい人の顔が充分にわかっています。まだ1か月しかたっていないわずかな期間ですが、子どもの大きな成長を感じます。赤ちゃんがこれから歩んでいく社会が目の前に少しずつ広がっていきます。もう少しすれば、お友だち(第三者)の存在もわかつてきます。

さて、今年度から年長児を中心に木場公園の一部を園で貸し切って、自然の中で遊ぶ体験ができる「木場公園子どもにわネットワーク」に参加しています。

毎月、2回ほど木場公園の雑草が生えている広い場所を走り回ったり、丸太で遊んだり、どろ遊びを楽しんだりすることができます。木場公園までは、子どもの足で30分ぐらいかかるので、今のところ、年長児を中心に考えています。

4月に初めて遊んできました。広い場所で、草や花がたくさん咲いており、虫もたくさんいました。遊具は、木を切った丸太のみです。園からは、砂遊び用のシャベルのみを持参し、年長児15名が、思いやりや協同作業しながら、過ごしました。

子どもたちは、遊びを見つけること、遊びを展開することがとても上手です。中でも大きな丸太を一人で動かすことはできません、叫んで助けを呼ぶか、泣いて丸太が動かないことを訴えるか、動かない丸太に怒ったり、中には、お友だちが困っているのではと察知して手を貸しに行く姿…。丸太一本で、年長児の様々な子どもの姿がありました。

毎月出かけることで、季節の様々な変化も体験してほしいと思います。

神愛保育園園長 鶴澤由記子





私の好きな絵本

第1回目 担当 高田 直子

私の好きな絵本は、高野紀子作「テーブルマナーの絵本」です。食べることが大好きなので、食に関する絵本には魅力を感じるのですが、その中でも、この絵本は、とにかく美味しいなお料理に始まり、使われている器やお箸などもとても美しく、出合った瞬間に本物そっくりのイラストに惹き込まれました。

「いただきます」「ごちそうさま」の意味や春夏秋冬、季節の食の楽しみ方など、単にテーブルマナーだけでなく、食に関する知識も身に付き、大人も存分に楽しめる内容が盛りだくさんです。

また、よそのお宅にお邪魔するときの靴の向きや、外食するときに気を付けたいことなど、可愛いどうぶつのイラストでわかりやすく描かれています。外食や会食など、制限が多いコロナ禍ではありますが、親子で食について一緒に考えるきっかけにもなる一冊です。

こんなときどうする？

- 手に持つていいのは、どのお皿？
- ごはん茶碗は、右に置く？左に置く？
- スプーンで、ごはんを最後まで綺麗に食べる方法とは？
- ナイフ、フォーク、スプーンでしてはいけないことって？

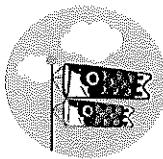


三人姉妹の真ん中で育ちました。お人形遊びと、ブロックが好きで、姉妹で仲良く遊んだそうです。左が私、右は一つ上の姉です。

一歳半頃のお正月の写真です。



食事だより



神愛保育園では以下のことについて配慮して食事を提供しています

☆国産の食材を主に、無添加の調味料を使用しています☆

お米は山形県産と秋田県産の2か所から取り寄せており、1歳～5歳クラスまでは五分づき米を使用しています。(雑穀も一緒に炊き込んでいます。) その他にも、近隣の八百屋さん、お肉屋さん、魚屋さんからその日に市場で仕入れてきた新鮮な食材を納品して頂いています。調味料は生協の国産の食材を使用した無添加のものを使用しています。

☆ごはんが中心の和食献立を多く取り入れています☆

パンや麺のメニューはおやつも含め、週2～3回を目安に組み込んでいます。季節(旬)や行事に合わせたメニューなども取り入れています。(郷土料理は月に一回です。献立表に記載しています。)

☆保育園での栄養目標に準じた献立を作成しています☆

4月は1日平均でたんぽぽ・もも組 約500kcal ちゅうりっぷ・ひまわり組 約600kcalを昼食とおやつから摂取できる様にしています。身長・体重の成長にあわせて、栄養価など見直しながら園の特色を生かした食事内容を検討しています。

☆毎日だしを取り、おいしく体に優しい食事を提供していきます☆

だしは国産で自然食の干し椎茸、天然の昆布、ブレンドの厚削りを使用しています。離乳食では素材の味を生かし、調味料は少量で段階に合わせて使用します。乳幼児食もただ薄いだけで味気ない食事ではなく、旨味を感じられる塩分を考えながら味付けをしています。(塩分濃度は0.6～0.7%を基準値とし、調理室全員で味見をしています。塩分計も使用しています。)

☆果物は国産の物と生協の有機栽培の物を使用しています☆

神愛保育園では昼食に国産のフルーツのみを提供していましたが、価格高騰や誤嚥の危険性により年々提供できるフルーツの種類が限られてきました。そのため2021年度6月よりバナナ、グレープフルーツを使用しています。食材が安全である事をきちんと確認して使用する品種を限定した上で購入します。(購入先はパルシステムとコープデリです) 厚生労働省の大量調理マニュアルの基準に従って提供しています。

調理室では以下の事を心掛けて食事を作ります

- その1. 園児はもちろん、園にお子様を預けて下さっている保護者の皆様の安心・安全の為に衛生管理の徹底をお約束します。
- その2. 既製品・化学調味料は極力使用せず、だしの風味を生かした優しい味を心掛けていきます。おやつも手作りのものを中心で提供していきます。

ご質問などありましたら、調理室にお声掛け下さい。2022年度もよろしくお願い致します。



4月は桜の便りから始まり、新入園・進級を祝う季節でした。新しい保育室・友達にも慣れ、子ども達の元気な声が聞かれています。この時期は、ひんやりとする日もあれば初夏のような陽気の日もあり、服装選びに迷われることが多いかと思います。保育室のなかは大体21度～24度程度で、湿度は30%～40%前後です。室内での活動には、肌着にTシャツが向いています。登降園時は上着で調節していくのが良いでしょう。

保健行事のお知らせです

5月26日(木)は歯科検診です。結果はお便りでお知らせいたします。虫歯だけでなく、噛み合わせや磨き残し・歯肉の炎症などを指摘されることもあります。ご家庭での観察をお願いする場合と、歯科医院での治療をお願いする場合があります。歯科医院での治療をお願いしている場合のみ、受診が終わりましたら結果をお知らせください。(異常なしの場合にもお知らせいたします。)

5月10日(火)は全園児健診です。お休みをされた場合には、園医による1歳児健診が毎月第二火曜日にあるので、そこで受診します(年間2回の受診が定められています)。お子さんの身体の症状・発達についてなど気になる事がある場合には、担任にお声かけください。



ひだまり

～地域の親子と園児の交流～



ひだまりは年末年始と祝日・休日を除く月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで、地域の親子に開放している子育てひろばです。園舎とは少し離れた場所にありますが、室内にはお子様向けのおもちゃ・絵本・お母さん向けの雑誌等が置いてあります。お子様が遊んでいる姿を見ながらお母さん同士がおしゃべりできるスペースもあります。

☆ 現在は新型コロナ感染拡大防止のため10時から12時、13時から15時の2時間で区切り午前・午後各4組、飲食も控えさせて頂いております。

コロナ禍で行動に制限はありますが、保育園の子どもたちとひだまりに遊びに来てくれる方たちとの交流を増やしていきたいと考えています。
今年度もよろしくお願ひいたします。

橋本



ともにこそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2022年 4月 21日 (木) 天気 晴れ もも組 (2歳児)

かわいい妹

朝、A と A の妹の B (0歳児) が一緒に登園した。B が泣いていると「Bちゃん！」と声を掛け続け、笑顔で頭を撫でていた A。B は一瞬泣き止むがしばらくすると再び泣いていた。同じクラスの C が登園してくると「Bちゃん(だよ)！」と自分の妹を紹介している姿もあり、C が「かわいいね！」と言うと、A も「かわいいね！」と繰り返していた。

普段クラスでは見ることのない A の兄らしい姿を見る事ができた。また C も興味津々な様子であった。つくし組 (0歳) との交流はまだ難しいが、今後少しずつでも機会を作っていけたらと思う。

早番の時間での 2歳児クラスの子どもたちの様子です。妹と一緒に登園してきた A が、クラスではあまり見せないお兄ちゃんらしい姿を發揮したり、Cちゃんが小さい赤ちゃんに興味を持つ姿が見られ、とても微笑ましいですね。

神愛保育園では、クラスや年齢の違う子どもたちが関わる機会が多くあります。夏祭りや運動会などの行事を通してであったり、この日誌のように日常の中であったり（もうしばらくすると、夕方幼児が乳児クラスにあそびに行くようになります）。先日、保育者が 0歳つくし組の子どもと“お散歩”として 1歳や 2歳の部屋にあそびに行くと「あかちゃん！」「かわいい」と嬉しそうに話しかけたり、抱っこされている足にそっと触れようとする姿がありました。乳児の子どもたちでも、自分よりも年下の子どもに対して興味を持ち“優しくしたい”“触れ合いたい”と思う姿に、心が温かくなりました。きっと自分たちも、上のお兄さんお姉さんから優しくされたり嬉しい関わりをたくさん重ねてきたのでしょうか。小さいうちからでも、思いは繋がっていくことを感じます。これからも色々な人と触れ、良い刺激を受け、心が豊かに育っていって欲しいと思っています。

2022年4月26日(火) 天気 はれ ひまわり組(5歳児)

「りんごグループでいい?」「いいよ」

新しいグループの名前決めを行った。文字が書ける年長児に筆記具を渡すと、平仮名で上がった名前を書きとっていく。文字が思いつかなかったAは、絵でかいて記録を取っていた。たくさんの候補が出て、決めるのが難しくなってしまったBグループでは、「天の神様のいうとおり…」と歌で選び、みんなで納得して決めることができた。話し合いのやり方もグループそれぞれで、最後まで意見を譲らずに主張していたCと別の意見で割れてしまったDのいるグループでは、保育者が“誰かが譲らないと決まらないね”と話すと、多数派だった意見をもう一度説得して、Cの意見を採用した。最初は、多数派なのに譲りたくないと言っていたDも、Cが選んだ理由を聞いて納得したり、年中児にも「いい?」と確認を取って、Eが調整してくれた。思い通りにならない中でも、年中児をリードしてくれる年長児の姿も見られ、今後のグループ活動でも年長児らの力に期待したい

園では、幼児クラスになると、様々なことを子どもたちが相談して決めています。まずは、4月は新しいクラスになったことで、年長と年中が一緒に活動する新しいグループを作ります。その際に、グループの名前をグループメンバーと考えます。その際の出来事をあらわした日誌です。先月まで、年中として過ごしていた子どもたちも、自分たちが年長さんになったことで、グループのリーダーとなったり、意見を調整したりして、年中さんと一緒に過ごしていく為のかじ取り役を任せられます。まだまだお互いの意見がぶつかり合ったり、譲り合いが難しいこともあります。大人でさえ、みんなの意見をまとめていくことはとても難しいです。子どもなりに、試行錯誤しながら考えている姿があります。これから一年間、同じような体験をたくさん重ねることによって、一人ひとりが大きく成長していく姿が本当に楽しみですね。